

成果報告書

1 大学等名		広島経済大学
2 教育研究活動	区分	⑥観光資源の共同開発・PR
	テーマ	規格外食材を活用した商品開発による観光地の賑わいづくり～道の駅を中心とした6次産業化の推進～
3 連携した市町		安芸太田町（広島県）・美郷町（島根県）
4 連携した企業、団体等		安芸太田町・美郷町・安芸乃国酒造・地元農家など
5 参加学生		藤原ゼミ（3年）14名、（2年）7名
6 活動の内容		【2024年】 4月2日：安芸太田町役場・ブルーベリー農園・安芸乃国酒造へ訪問。 現状課題のヒアリングや今後の活動に向けての打ち合わせを実施。 5月16日：お茶農家へのヒアリング 5月23日：安芸太田町・安芸乃国酒造など事業関係者間で企画骨子等の打ち合わせを実施 7月：レシピ、ラベル案検討・作成、お茶を利用した商品開発の検討 8月：ブルーベリー収穫作業、クラフトビールの試作品製造、製造実習 9月：販売活動・アンケート調査 10月：製造活動（クラフトビール、新商品） 11月：美郷町産業祭に参加、クラフトビール販売 12月：クラフトビール販売（広島三越）
		 ブルーベリー農家訪問
		 関係者間での協議（安芸太田町）
		 広島経済大学同窓会での販売
		 安芸太田町 20 周年記念式典

7 活動効果

本事業では安芸太田町、美郷町におけるヒアリング調査を実施し、両町の地域活性化施策として、クラフトビールの企画提案を行った。昨年の活動を知った地元農家様からの相談を受け、ブルーベリーの活用について議論を行い、昨年に引き続き、クラフトビールの開発を行った。また、美郷町産のお茶を使った製品化を検討した結果、「ちゃばこ」というパッケージを活用した粉末緑茶の商品開発を実施。デザインは、美郷町・安芸太田町の両町の神楽を使用し、伝統芸能の普及促進も兼ね備えた。また、昨年同様に、クラフトビールの製造においては、ブルーベリーの収穫実習、ビール工場での製造実習、地域の産業祭や百貨店での販売実習などを行うことで、第1次産業から第3次産業までの全てに携わった。

企画にあたっては、学生自らが商品開発に従事するとともに、県外やインバウンドなどの来県者に向けた観光地の賑わいづくりを行い、安芸太田町・美郷町の認知度向上を図った。

活動を通じて、地元農家と地元関係者とのコミュニケーションの輪を広げ、共通の目標や価値観を共有し地域コミュニティの結束力を強化することができた。今回の対象地域は、安芸太田町・美郷町であるが、こうした活動を他地域にも発展させることが可能であり、地域固有の特産品や地域資源が広く認知され、観光や地域復興に貢献することができると考える。